

向陽台小だより

7 月 号

令和2年7月1日

富田林市立向陽台小学校

みんなの願いが かないますように

こうちょう こむら かつとし
校長 古村 勝俊

先日、教室の窓からクマゼミの鳴く声が聞こえてきました。すっかり夏です。時の流れの速さを感じます。せみ捕りに夢中になった子どもの頃が懐かしく思い出されました。休み時間に校内を歩くと、熱心に七夕の笹飾りをつくる子どもたちの姿を見かけます。「学校の人々と仲良くなれますように」とお願いすることを教えてくれた子もいました。元子どもの私は、短冊にどんなお願いを書いたのか、まるで思い出せませんが・・・。

さて、みんながそろっての学年・学級開きから2週間。子どもたちは、学校生活の新しいルールや新しい先生、新しい友だちとの学級生活にも慣れようとしています。運動場や体育館では、友だちや先生といっしょに、楽しそうに体を動かしている子どもたちの生き生きとした姿に出会えます。教室では、先生の話をしっかりとしきき、たくさんの子どもたちが手を挙げ積極的に発表するようになってきました。「みんなと仲良く楽しい学校生活を送りたい」、「いろんなことを頑張っているようにになりたい」という子どもたちの願いが伝わってきます。参観していただけるのは、もう少し先になりそうですが・・・ぜひ、子どもたちからたくさんお話を聴いてあげてください。

この間、学校では、いきなり授業ばかりを詰め込むのではなく、子どもたちの心とからだの状態で、創意工夫しながら教育活動を進めてまいりました。学びや運動、給食や集会も、これまでと同じようにできないこともあります。子どもたちはこの2週間で少しずつ学校生活のリズムを取り戻しつつあります。

これも、子どもたちの健康観察などたくさんのご協力いただいている保護者の皆さま、そして、毎朝通学路で子どもたちを見守り、励ましの言葉をかけていただいている皆さまの支えあつてのことだと、心から感謝しております。

今後も、子どもたちの前向きな気持ちをより一層高められるよう、教職員みんなで力を合わせ、日々の教育活動の充実を図ってまいります。

がんばっている「向陽台っ子」みんなの願いがかないますように。